

動物実験に関する検証結果報告書

中村学園大学・中村学園大学短期大学部

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2026年3月

日実動学-外検発 第R8-16号-報  
2026年3月16日

中村学園大学・中村学園大学短期大学部  
学長 久保 千春 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 小倉淳郎



対象機関：中村学園大学・中村学園大学短期大学部

申請年月日：2025年7月30日

訪問調査年月日：2025年11月19日

調査員：佐加良英治、鈴木 真、丸山基世

#### 検証の総評

中村学園大学及び中村学園短期大学部は、70有余年の歴史を持つ私立総合大学であり、短期大学部を含む4学部、大学院3研究科を擁し、動物実験は栄養科学部、教育学部、大学院栄養科学研究科、短期大学部、フード&ヘルスイノベーションセンターにおいて実施されている。文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」におおむね適合した「中村学園大学（含む短期大学部）動物実験に関する規程（以下「動物実験規程」という。）」に則し、適正に動物実験が実施されている。実験動物の飼養保管は、十分な規模を有するアニマルセンターにおいて、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」を遵守し、適正に実施されている。安全管理に注意を要する動物実験は、関連の詳細な学内規程が整備され、適正な実施体制となっている。他方、前回の外部検証において改善に向けて指摘された事項（以下「前回指摘事項」という。）への対応が十分でない箇所が散見されるため、動物実験の最終責任者である学長の指揮の下、動物実験委員会をはじめとする動物実験関係者が現状の問題点を十分に把握し、より一層、改善に向けた取組を行うこと

を期待する。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 機関内規程として、動物実験規程が定められており、その内容はおおむね基本指針に適合している。また、細部の不整合はあるものの、前回指摘事項に対しては対応措置が講じられている。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見 飼養保管基準の遵守状況に関する不整合が細部にみられるので、環境省の飼養保管基準の解説及び国立大学法人動物実験施設協議会、公私立大学実験動物施設協議会（以下「公私動協」という。）が提案、公開する最新の機関内規程雛形を参考に、動物実験規程を改定されたい。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験規程において、動物実験委員会の設置、役割、構成、議決などが定められており、その内容は基本指針に適合している。また、前回指摘事項には全て対応している。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

### 3. 動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験規程において、動物実験計画の立案、申請、実験操作、実施結果の報告が定められており、動物実験計画書に相当する「動物実験倫理審査申請書」の他に「動物実験計画変更承認申請書」「動物実験（実施状況・終了・中止）報告書」の3つの関連様式を定めている。しかしながら、これらの関連様式に学長の決裁欄がなく、前回指摘事項に十分な対応ができていない。また、飼養保管施設、実験室の設置や廃止の様式が整備されていない。さらに、様式の中で、規定している動物実験実施者や飼養者の定義が動物実験規程と異なっている。したがって、動物実験の実施体制について、「基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。」との自己点検・評価の結果であるが、「動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。</li> </ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>全ての関連様式に学長の決裁欄を設けられたい。また、動物実験室の設置・管理について、機関として確実に把握する体制の構築を検討されたい。あわせて「動物実験倫理審査申請書」の記載事項と動物実験規程の整合性を精査されたい。</p>

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「中村学園大学（含む短期大学部）遺伝子組換え実験安全管理規程」「中村学園大学（含む短期大学部）遺伝子組換え実験安全管理細則」「中村学園大学（含む短期大学部）微生物安全管理規程」「中村学園大学（含む短期大学部）微生物安全管理委員会及び安全管理細則」「中村学園大学（含む短期大学部）排水及び廃棄物管理要領」が定められている。また、前回指摘事項に対応している。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>

3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
飼養保管施設であるアニマルセンターには、実験動物管理者が配置され、おおむね必要項目が網羅された中村学園大学アニマルセンター標準作業手順書が定められている。また、緊急時の対応として中村学園大学アニマルセンター災害対策要領が定められている。前回指摘事項である、逸走時の対応の充実は十分ではないものの、標準作業手順書に逸走時の対応は記述されている。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
標準作業手順書の逸走時の対応の記載事項を、災害対策要領の内容との整合性を図りつつ、より充実されたい。

## 6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

中村学園大学及び中村学園大学短期大学部は、2018年に外部検証を受検しており、今回が2回目である。前回の指摘事項にはおおむね対応されているものの、十分でないものもある。今後の改善に向けて、関係者の一層の努力を期待する。
---

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>定期の動物実験委員会は年2回開催され、「動物実験倫理審査申請書」の審査、結果報告の確認、教育訓練の実施、自己点検・評価等、動物実験規程で定める動物実験委員会の役割を果たしており、その議事録も作成され、適正に保存されている。また、前回指摘事項にはおおむね対応されている。したがって、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>学長承認が明確になるよう、ウェブサイト上での決裁システムを工夫することを検討されたい。</p>

### 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>全ての動物実験責任者は、「動物実験（実施状況・終了・中止）報告書」を毎年度提出している。動物実験委員会が審査した関連資料と議事録を学長が確認のうえ、承認などを行うシステムであり、学長から意見等があれば、改善指示が行われる体制となっている。また、前回指摘事項に対応している。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験が3Rsの理念を遵守し、適正に実施することを担保するために、外部検証実施要領の様式である「動物実験の自己点検票」を「動物実験（実施状況・終了・中止）報告書」とともに</p>

提出することを検討されたい。

### 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

これまで動物実験は安全に実施され、事故などの発生はない。2024 年度は遺伝子組換え動物実験、微生物を用いる動物実験は実施されていない。また、動物実験委員会と遺伝子組換え実験安全委員会、微生物安全管理委員会は複数の委員が重複しており、担当事務も共通の連携推進部が担っており、必要な情報が共有されている。さらに、前回指摘事項に対応している。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

#### 3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない。

#### 4) 改善に向けた意見

今後、再び安全管理に注意を要する動物実験を実施する際には、改めて安全設備を整備し、拡散防止措置についても確認されたい。

### 4. 実験動物の飼養保管状況

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

実験動物管理者が飼養保管基準に従って活動していることをヒアリングで確認した。実験動物の飼養保管はアニマルセンター標準作業手順書に従って、適正に実施されている。実験動物飼養保管状況の自己点検票を用いて行った、自己点検においても問題点はなく、実験動物の飼養保管は実験動物 2 級技術者資格を有する専任の飼養者により適正に実施されている。また、前回指摘事項はおおむね対応している。したがって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

#### 3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

#### 5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 飼養保管施設はボイラーや空気調和設備が更新され、計画的に補修や改修が行われている。第1種圧力容器の性能検査も適正に実施されており、施設の入口は電子錠で入室が管理されている。前回の構造的な指摘事項にも対応がなされている。したがって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 動物実験委員会による飼養保管施設の視察については、定期的な実施を検討されたい。

#### 6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 アニマルセンター長と実験動物管理者が、オンデマンドで動物実験実施者に対する教育訓練を実施している。この教育訓練は必要な項目を網羅しており、この実施記録や受講記録は適正に保存されている。これとは別に、動物を用いた実習を行う学部1年生には、講義の中で教育訓練を実施している。実験動物管理者は公私動協の実験動物管理者の教育訓練、日本実験動物協会の日常の管理研修会を受講している。また、前回指摘事項には全て対応している。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

実験動物管理者及び動物実験実施者には、最新の情報を入手するために、定期的な教育訓練の受講を推奨する。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

中村学園大学及び中村学園大学短期大学部のウェブサイト上にある「動物実験について」のページに、動物実験規程、2022～2024 年度の自己点検・評価報告書、外部検証の結果が公開され、「アニマルセンター」のページに動物実験の実施状況、実験動物の飼養保管状況等が公開されている。また、前回指摘事項はおおむね対応できている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

公私動協が要請する情報公開項目の全項目を公開することを検討されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

実験動物の飼養保管を、有資格の専任飼養者が業務委託により担っており、大学の手厚い研究支援の取組として評価できる。